

第33回 読書感想画岩手県コンクール 要項

- 1 趣 旨 読書によって得た感動を絵画表現することを通して、児童生徒の読書力、表現力を養うとともに、読書活動の振興を図る。
- 2 主 催 岩手県学校図書館協議会 毎日新聞社盛岡支局
- 3 後 援 岩手県教育委員会 岩手県読書推進運動協議会 岩手県造形教育連盟
岩手県小学校教育研究会図画工作部会 岩手県中学校教育研究会美術部会
岩手県書店商業組合

4 作品提出要項（第33回読書感想画中央コンクールと同様）

(1) 応募資格 小学生・中学生・高校生（満20歳以下に限る（2001年4月2日以降に出生の者））

(2) 応募区分 4部8区分

①小学校低学年の部（1・2・3学年）指定読書・自由読書

②小学校高学年の部（4・5・6学年）指定読書・自由読書

③中学校の部（全学年）指定読書・自由読書

④高等学校の部（全学年）指定読書・自由読書

イ) 指定読書

主催者が指定した図書の感想画（読書感想画中央コンクールの要項・ポスターに記載の通り）

ロ) 自由読書

自由に選んだ図書（指定図書以外の図書で、海外で出版された図書・日本語以外の図書・教科書・副読本・読書会用テキスト類またはそれらに準ずるもの、および雑誌・付録は除く）の感想画

(3) 用紙・画材 用紙は厚みのあるものでなければ可。絵具は自由、版画やはり絵も可。

(4) 寸 法 36 cm×25 cm以上、55 cm×40 cm以下

(5) 提出要項

①一人で指定読書・自由読書それぞれ各1点応募できる。

②作品は必ず在籍校に提出すること。

③未発表作品であること。（他の類似のコンクールとの二重応募は認めない）

④応募要項に合わないもの、読んだ本にある絵をまねたもの、ポスター、映画・ビデオ・DVD等の場面をまねたものは審査の対象としない。

⑤(3)「用紙・画材」の項に記載したとおり「はり絵も可とする」が、立体など厚みのあるものを貼付した作品および破損しやすい作品は審査の対象としない。

⑥作品の裏面に、応募票（応募書式㊶）、作画感想用紙（応募書式㊷）、整理票（様式1）を貼付すること。

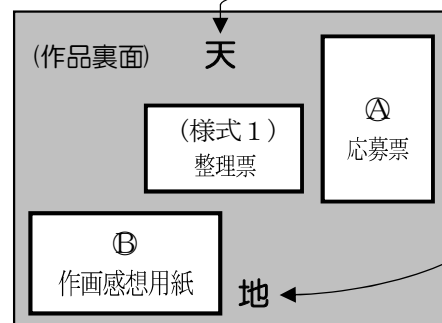
※ 作品の天地を応募票の貼付の向きで判断しますので、必ず向きを揃えてください。

※ 作品の裏面に「天」「地」を記入してください。

・応募票（応募書式㊶）（コピー可）：漏れなく記入し、作品裏面右上に貼付。未記入や記入に不備のある場合は、審査対象とならない場合がありますので、十分注意願います。

・作画感想用紙（応募書式㊷）（コピー可）：200字以内。原則自筆。作品裏面左下に貼付。

・整理票（様式1）：作品裏面中央に貼付。



記入のこと

⑦応募一覧表（様式2）を作成し提出すること。

※ 応募一覧表（様式2）を作品に同封するとともに、電子データ（エクセルファイルで、PDF不可。）でも送信してください。（岩手県SLA E-mail : info@iwate-sla.jp）

(6) 作品返却

提出していただいた作品は中央コンクール応募作品を除きすべて返却します。返却方法は、直接引取または配送(着払)となりますので、作品返却依頼状（様式3）の希望の返却方法を記入し、提出願います。

①直接引取 引取期間については、審査結果公表後に該当校へ通知します。

②配送(着払) 『ゆうパック』の着払伝票に必要事項を記入し、添付願います。送料は該当校の負担となります。(昨年度は、ヤマト運輸指定でお願いしておりましたが、ヤマト運輸では絵画作品の配送はできないということがわかりました。そこで、今年度から『ゆうパック』のみの着払伝票の取扱いとさせていただきます。)

作品返却の際、入賞該当校については、返却作品と併せて賞状、筒、盾等も送付させていただきますことをご了承願います。

《着払伝票への記入事項》

お届け先	応募する学校の郵便番号、住所、学校名、電話番号
ご依頼主	〒020-0851 盛岡市向中野 2-39-27（盛岡市立向中野小学校内） 岩手県学校図書館協議会（岩手県SLA） 読書感想画コンクール係 TEL 019-635-8510
品 名	読書感想画作品

5 作品の応募可能数

(1) 中学校、高等学校部門は、応募数の制限を設けない。

(2) 小学校部門は、以下の目安で応募するものとする。

ア 児童数 200 名を越える小学校

応募総数：学級数×2点程度（指定読書・自由読書とも別計算）

【例1】12学級×2点=24点程度 → 1～6年各4点 合計24点

【例2】12学級×2点=24点程度 → 1年8点、3年10点、6年8点 合計26点
(1～2点程度多めの応募も可)

イ 児童数 200 名以下の小学校

応募総数：学級数×3点程度（指定読書・自由読書とも別計算）

【例1】6学級×3点=18点程度 → 1～6年各3点 合計18点

【例2】6学級×3点=18点程度 → 1年6点、3年5点、6年8点 合計19点
(1～2点程度多めの応募も可)

ウ 全校6学級以下の小規模校で感想画コンクールに重点的に取り組んでいる小学校

応募総数：児童数の半数を上限として、上記イの規定を50%程度上回る応募数を許容する。

【例1】4学級×3点=12点程度 → 児童数60名で、合計12～18点

【例2】3学級×3点=9点程度 → 児童数30名で、合計9～14点

- 6 応募先** 岩手県学校図書館協議会（岩手県SLA） 読書感想画コンクール係
〒020-0851 盛岡市向中野 2-39-27（盛岡市立向中野小学校内）
TEL：019-635-8510 FAX：019-635-8512
E-mail：info@iwate-sla.jp

7 応募締切 令和3年12月10日（金）必着

※12月11日以降の到着は、対象外となります。

- 8 審査** 岩手県学校図書館協議会が委嘱する審査員により応募作品を審査する。
※ 応募する学校において必ず校内審査を行い、学校代表作品を選出し、応募すること。
※ 挿絵の模倣にならないよう留意すること。

- 9 入賞** 岩手県コンクールの各賞と人数は次のとおりとする。（中央コンクール募集要項の記載と一部違う部分があります）

部門 賞	小学校低学年		小学校高学年		中学校		高校		合計	
	指定	自由	指定	自由	指定	自由	指定	自由	指定	自由
最優秀賞	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	4~8	4~8
優秀賞	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	4~8	4~8
優良賞	2	2	2	2	2	2	2	2	8	8
奨励賞	2	2	2	2	2	2	2	2	8	8
合計	6~8	6~8	6~8	6~8	6~8	6~8	6~8	6~8	24~32	24~32

- ※ 上の賞に漏れた全応募作品を佳作入賞とする。
※ 学校賞は最優秀賞を受賞した児童生徒が所属する学校に授与する。
※ 入賞の通知は、令和4年1月下旬、当該校に通知するとともに、岩手県学校図書館協議会公式ホームページ上に公開する。

- 10 表彰** 賞状の発送を以って表彰に代えさせていただきます。（表彰式は行いません）

- 11 問い合わせ先** 岩手県学校図書館協議会（岩手県SLA）
読書感想画コンクール係 担当：岩清水 裕行
〒020-0851 盛岡市向中野 2-39-27（盛岡市立向中野小学校内）
TEL：019-635-8510 FAX：019-635-8512
E-mail：info@iwate-sla.jp

◇ 岩手県学校図書館協議会ホームページ <http://www.iwate-sla.jp>

第33回読書感想画中央コンクール
指定図書

	著 者	書 名	出 版 社	定価 (本体)	ISBN
小学校低学年の部	ね じ め 正 一 作 絵 下 田 昌 克 絵	みどりバアバ	童 心 社	1,540円 (1,400円)	978-4-494-01636-5
	や ま だ と も こ 作 絵 い と う み き 絵	宇宙人がいた	金 の 星 社	1,320円 (1,200円)	978-4-323-07472-6
	エイナット・ツアルファティ 作 訳 青 山 南 訳	アパートのひとたち	光村教育図書	1,650円 (1,500円)	978-4-89572-267-4
	大 西 健 夫、龍 澤 彩 文 絵 西 山 竜 平 絵	地球がうみだす土のはなし	福 音 館 書 店	1,430円 (1,300円)	978-4-8340-8597-6
小学校高学年の部	小 手 鞠 る い 作 絵 カ シ ワ イ 絵	サステナブル・ビーチ	さ・え・ら書房	1,540円 (1,400円)	978-4-378-01557-6
	佐 和 み ず え 作 絵 し ま ざ き ジ ョ ゼ 絵	江戸の空見師 嵐太郎	フレーベル館	1,540円 (1,400円)	978-4-577-04928-0
	ローレンティン妃、 パウル・ヴァン・ローン 作 西 村 由 美 訳 絵 佐 竹 美 保 絵	お話のたきぎをあつめる人：魔法の図書館の物語	徳 間 書 店	1,540円 (1,400円)	978-4-19-865284-5
	楠 章 子 作	星空をつくるプラネタリウム・クリエーター大平貴之	文 研 出 版	1,540円 (1,400円)	978-4-580-82414-0
中学校・高等学校の部	佐 藤 ま ど か 著	世界とキレル	あすなろ書房	1,540円 (1,400円)	978-4-7515-2949-2
	ま は ら 三 桃 著	零から0へ	ポ プ ラ 社	1,760円 (1,600円)	978-4-591-16907-0
	ピート・ハウトマン 作 訳 こ だ ま と も こ 訳	きみのいた森で	評 論 社	1,760円 (1,600円)	978-4-566-02431-1
	千 葉 望 著	大切な人は今もそこにいる：ひびきあう賢治と東日本大震災	理 論 社	1,430円 (1,300円)	978-4-652-20403-0
	宮 田 律 著	武器ではなく命の水をおくりたい 中村哲医師の生き方	平 凡 社	1,540円 (1,400円)	978-4-582-83865-7

第 33 回読書感想画中央コンクール
《応募書式 A》

第33回 読書感想画中央コンクール									
指 定		応 募 票					自 由		
感想画の題名									
対象図書 (読んだ本)	書 名								
	著者・編者・ 訳者・画家								
	シリーズ名・ 文庫名								
	発 行 所								
	発 行 年	年(初版発行年) 年)							
	定価・ 判型・ページ数	定価 (本体	円 (円)	判 型	タテ cm	ペ ー ジ 数	ペ ー ジ		
応募者	(ふりがな) 学 校 名	() () 立 学校							
	学校所在地 (電話番号は市外 局番から記入 してください)	(〒 -) (Tel. - -)							
	(ふりがな) 氏 名	()							
	部・学年	小低・小高・中学・高校 (第 学年)						男	
	※高校のみ記入 生年月日・年齢	年 月 日生 (歳)						女	
感想画制作に際し 参考にした資料の有無		1.有 ※参考にした資料名 (Webサイトの場合はURL) を具体的に記入してください。						2.無	

※この応募票は応募者本人または保護者が記入してください。
※わかりやすく楷書で記入し、作品の裏面右上に貼付してください。
※指定読書は「指定」、自由読書は「自由」の文字を○でかこんでください。
※応募する部、性別も該当文字を○でかこんでください。
※応募票が不足のときは、これと同じものを作って貼付してください(コピー可)。
※記入もれは失格になる場合があります。もれのないように記入してください。
※応募票に記入された氏名・学校名・学年・感想画の題名・対象図書名は、毎日新聞社および
全国学校図書館協議会・都道府県市区町村学校図書館協議会の刊行物・Webサイト等で
公表することがあります。ご了承のうえ、ご記入ください。

インターネットダウンロード用
※本用紙は A4 用紙にプリントすることを前提に作成してあります

—(切り取り線)—

◎ 作画感想用紙 ◎

※読んだ本にうつり感動を得たのが、うつり思ひだしの絵を描いたのが、
作画に苦心した点などを、この用紙に100字以内にまとめ、作品の
裏面左下に貼付してください。

(9x9)

[illegible]

・(切り取り線)

※本用紙はA4用紙にプリントすることを前提に作成してあります

読書感想画コンクールに対する指導に向けて
——小学校における読書感想画の取組み——

読書感想画の指導では、読書指導に力を入れることはもちろんですが、自己表現力を育て、豊かな心の土壌づくりをし、絵を描きたいと思う場面をイメージさせることが大切だと考えます。常に心のイメージトレーニングができて、自分なりの表現を楽しむ習慣が育っていると、感想画を描くことについて抵抗が少ないと思います。

具体的な取組みを紹介しましょう。

自由読書における感想画の制作では、絵を描くための本選びから描画材や場面決定まで、一人ひとりが楽しみながら取り組むとよいでしょう。指定読書については、担任が読み聞かせを行うなどの工夫が必要でしょう。（指定図書を子どもたちに紹介し、読後に絵を描いてみたい本はどれかなという投げかけをして、子どもたちに興味・関心を促す。）

- ① 読み聞かせの後、感想を話し合う。（登場人物の行動を友だちどうして演じて遊んだり、続きを創作したりして本を身近なものにする。）
- ② 各自で本を読み、描きたい場面を自由に割り箸ペンやスケッチペン、クレヨンなどで下絵を描く。（一人ひとりのイメージが消えないよう配慮し、さらに思いが膨らむようにするためにおしゃべりをしないようにする。）また、イメージは浮かんだが思うように描けない子どもには、そのわけを聞いて描き始めるような方策を考える。
- ③ 構図や下絵がまとまったら、楽しい色使いで彩色する。（各自色使いを意識しながら、その子なりの思いで彩色する。スタンプングやコラージュ等のいろいろな技法を生かすように助言する。）
- ④ 作品を見せ合う。（制作途中で互いの作品を鑑賞し、よいところを褒めたりもっと工夫したらよいところを励まし合ったりする。また、友だちの作品のよさを自分に生かし、さらに取り組もうとする意欲をもたせる。）
- ⑤ 作品を完成させる。（一生懸命に描いた満足感や達成感を味わわせたい。）

以上のような指導をとおして教師は、子どもの感動、喜び、驚きなどに共感し、豊かな感性を見つめ、子どもが楽しんで感想画を描く心を育てることが大切です。土曜日や日曜日の有意義な過ごし方にも配慮し、その一助として読書への関心を高め、豊かな人間性を培っていきたいものです。

なお、詳しい指導の手引きとしては、当会より『読書感想画の指導』（本体価格 2,776 円）を刊行しています。参考図書として活用してください。

読書感想画コンクールに対する指導に向けて
——中学校・高等学校における読書感想画の取組み——

「読書感想画」とは、読書を通じて得た感動を、その子どもなりのイメージをもとに「絵画」として表現することです。素晴らしい読書体験から得たさまざまな感動や印象、イメージの広がり、思考の深まりなどをもとに自分だけの絵画世界をつくり上げていくことで、より深い読書体験を得ることになります。生徒の読書活動をより推進させるためにも積極的に取り組みましょう。たとえ一人からの応募であっても可能ですので、図書館担当、国語科担当、美術科担当の教師が互いに協力し合って、「読書感想画」の制作を生徒に勧めてください。

事前の準備と指導に当たっての留意点を次に述べます。

I 準備に関するチェックポイント

- ① カレンダーや応募のポスターは、学校のさまざまな場所に掲示してあるか。
- ② 指定図書の購入は手配してあるか。
- ③ 指定図書を読ませる時間は確保しているか。
- ④ 応募要項を熟読し、条件を把握しているか。
- ⑤ 授業で取り組んだり生徒が個人的に応募したりできるように、学校の協力体制ができているか。
- ⑥ 美術担当の教師との協力体制はできているか。（いつでも生徒を支援できる体制か。）
- ⑦ 生徒に絵を描かせる準備ができているか。（用紙など）
- ⑧ 生徒に「読書感想画」について詳しく説明し、描こうという意欲を持たせるための時間的確保はしてあるか。

II 指導のポイント

- ① 十分に本を読ませ、深まりのある読書活動とさせる。
- ② 下絵の段階で、よく検討して練らせる。（その際に、美術科の教師から協力を得られるようにする。）
- ③ 下絵の段階で、本の挿絵や表紙の絵などからの影響がないか確認する。（その子なりのとらえ方の絵になっているか。）
- ④ 適切な大きさや材質の紙を与え、画材なども工夫させる。
- ⑤ 着色や仕上げの各段階で美術科の教師から協力を得られるようにする。
- ⑥ 作品の裏に貼る応募票や作画感想は適切か確認する。

基本的に生徒に時間を与えることと、困ったときに相談にのることのできる体制を学校としてとることが大切です。深まりのある読書があつて初めて魅力ある感想画が誕生します。美術科の教師の協力が得られない場合でも、生徒が制作をしている途中段階で絵を持ってこさせ、じっくりと生徒と話して褒め、励ましていくことが大切です。

なお、詳しい指導の手引きとしては、当会より『読書感想画の指導』（税込価格 2,776 円）を刊行しています。参考図書として活用してください。

応募一覧表（様式２）の記入のしかた（各学校用）

応募一覧表（様式２）は各学校から岩手県SLAに提出するものです。

※ 応募一覧表（様式２）を、①応募作品と一緒に送付するとともに、②電子データ（エクセルファイルで。PDF 不可。）をメールで送信してください。（岩手県SLA E-mail : info@iwate-sla.jp）

* ①の「本校の応募者総数は_____名、応募作品総数は_____点です。」の欄は、校内でこのコンクールに応募したすべての児童または生徒数、応募したすべての作品数を記入してください。一覧表に記入する学校代表作品の数ではないのでご注意ください。

たとえば、学校内の全学級の児童生徒 200 名が各々 1 点応募（学校に作品を提出）した場合、応募者総数 200 名、応募作品総数 200 点と記入することになります。

* ②の「審査会への送付作品は下記のとおり合計_____点です。」には、学校から岩手県SLAに送付する代表作品の合計点数を記入してください。一覧表に記入する児童生徒の合計数です。小学校の場合は、低学年と高学年の両方の部をあわせた数になります。

* 「部」の欄には、学校から岩手県SLAに出す代表作品の小低、小高、中学、高校の別を選択してください。

小低・・・小学校１・２・３学年

小高・・・小学校４・５・６学年

中学・・・中学校全学年

高校・・・全日制・定時制・通信制の全学年（ただし 20 歳以下）

※特別支援学校はそれぞれの対応する部、中等教育学校の前期課程は中学校の部、後期課程は高等学校の部としてください。

* 学校代表作品を、指定読書（主催者の指定した図書の感想画）と自由読書（自由に選んだ図書の感想画）の区分ごと、学年順に記入してください。